

日本共産党県議団主催 学習講演会

# 水素社会はほんとうにエコでクリーンか？

日時：7月13日（木）午後1時30分～

場所：二本松市福祉センター3階

二本松市電谷1-5-1  
電谷ロータリー上がる

講師：小澤祥司さん（環境ジャーナリスト）  
科学ライター

参加費無料です。多数ご参加ください。



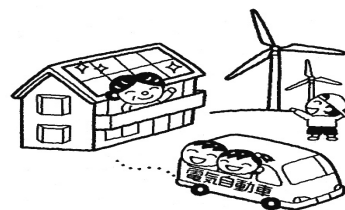
【講師紹介】1956年生。東京大学農学部卒業。1990年代～：自然環境教育・再生可能エネルギーの普及などを専門に活動。2005～2006年 東京都自然環境保全審議会都民代表委員。2008年～2011年 日本大学生物資源科学部非常勤講師（エコシステム工学）。2011年～311以降、福島第一原発事故による汚染に見舞われた福島県飯館村民の支援活動、放射能汚染調査に加わる。

【主な著書】減電社会（講談社）バイオマスエネルギー・ビジネス（共著）（七つ森書館）エネルギーを選びなおす（岩波新書）「水素社会」はなぜ問題か（岩波ブックレット）電力自由化で何がかわるか（岩波ブックレット）ゾンビ・パラサイト——ホストを操る寄生生物たち（岩波科学ライブラリー）

福島県は、原発事故からの復興のとりくみとして、再生可能エネルギー普及と水素ステーション、燃料電池自動車普及等を一体的に推進しています。

また、福島県は、世界最大規模となる水素製造工場の建設候補地を浪江・小高原発旧予定地などを含む浪江町に正式決定しました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでの稼働をめざし、年間で燃料電池車1万台分の使用量に相当する水素を製造し、首都圏に輸送する、水素製造には太陽光発電の電力を活用するとしています。

「未来のエネルギー」「エコでクリーン」「究極のエネルギー」などと宣伝され、莫大な税金が投入されることによって、「水素社会」は実現可能なものか、ほんとうに福島県の復興の力となるのか、一緒に考えてみませんか。



連絡・お問い合わせは  
日本共産党県議団へ  
電話：024-521-7618